

日本型自律経済社会を確立するためには

日本型自律経済社会を確立するためには、先ずアメリカ型資本主義市場教育メカニズムの背後にある基本哲学を正しく理解しそのメカニズムに対応できるシンクタンク作りが必要とされる。

1. アメリカ型人工頭脳、波作り競争メカニズム、圧力格差、吸引力 (saction) によって 収奪され、収縮し、デフレ化する日本

(アメリカ)

(日本)

(1)グーグル・・・intelligence、軍事、情報、支配

(情報検索、分類)

(分裂、週刊誌)

(2)10b-5・・・失敗記録分析、レーダー機能

(性善説、一罰百戒)

(3)Enforcement・・・波作りメカニズム (国防省、FTC,FRB,SEC)

(波消し、とぼし)

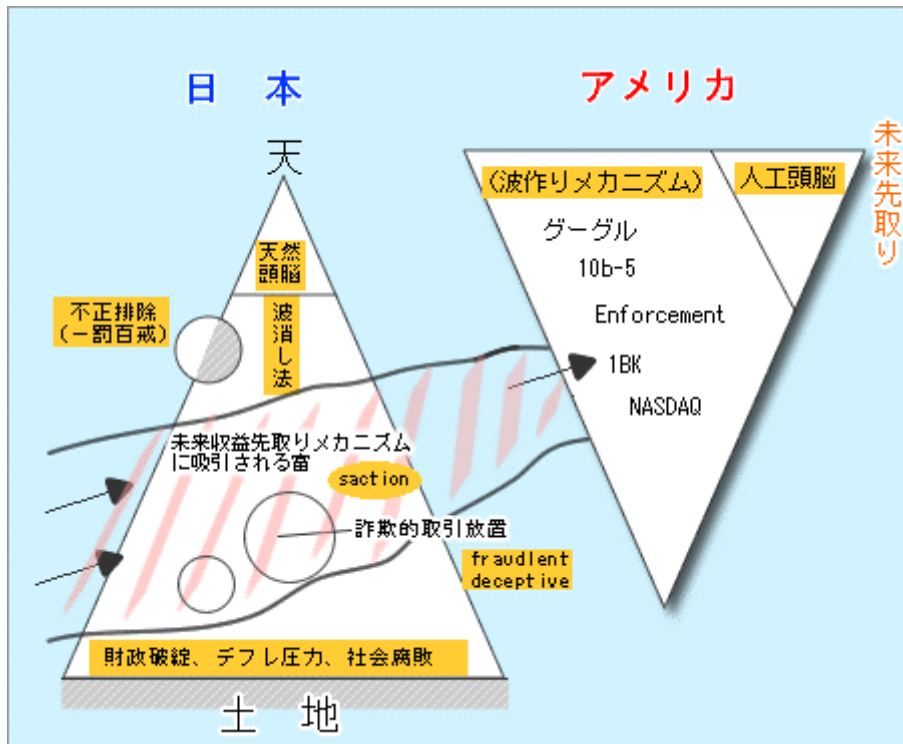
(4)Investment Banking・・・市場経済空軍機能

(村のバザール金融)

(5)NASDAQ・・・未来産業育成戦略

(草花、マネーゲーム)

2. 波作りメカ（アメリカ）に食われる波消しメカ（日本）



3. 日本型資本主義市場経済メカニズムの確立に向けて

自律・空軍型 シンクタンク作りへ

日本は今、自律国家として生きるために、自らの生き死にを賭け、**risk** に挑戦する国家戦略を描き、全国民が「目を輝かせて」外渦作りに挑戦するか、逆に「目を血走らせて」内渦・収縮の恐怖に脅えるかの分かれ道に立っている。

この **gap** を克服するためには、先ず、アメリカ型資本主義市場経済メカニズムを支える基本哲学とメカニズム発展の経緯を正しく理解し、日本自らが空軍型市場経済メカニズムに対応できるシンクタンクを作り上げることが先決である。